

科目区分	専門分野	科目名	基礎看護援助論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15時間)	学期	第2学期
担当講師	後藤 華奈子(臨床経験13年、教育経験5年)				
科目目標	主要症状のメカニズムから、根拠に基づいた主要症状別看護の方法を理解する。				
授業計画	<p>第1回 呼吸に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.呼吸機能障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1)酸素療法(酸素ボンベ)</p> <p>2)排痰ケア</p> <p>3)吸入</p> <p>第2回 循環に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.循環障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1)代表的な症状の発症メカニズムと看護(動悸、浮腫)</p> <p>第3回 栄養や代謝に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.栄養障害や代謝障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1)代表的な症状の発症メカニズムと看護(嚥下障害、食欲不振、吐きけと嘔吐)</p> <p>第4回 排泄に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.排泄機能障害に関連する症状のメカニズムと看護</p>	<p>第5回 活動や休息に関連する症状、意識障害に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.身体的不活動と休息障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1)代表的な症状の発症メカニズムと看護(運動麻痺、睡眠障害、意識障害、感覚障害、言語障害)</p> <p>第6回 安楽に関連する症状を示す対象の看護(講義)</p> <p>1.安楽に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1)代表的な症状の発症メカニズムと看護(疼痛、倦怠感、掻痒感)</p> <p>2)罨法(温罨法、冷罨法)</p> <p>第7回 呼吸に関連する症状を示す対象の看護の実際(演習)</p> <p>1.一時的吸引(口腔・鼻腔・気管内吸引)</p> <p>第8回 終了試験</p>			
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社 NEW 看護過程に沿った対症看護ー病態生理と看護のポイント 学研				
講師からのメッセージ	主要症状別看護については、それぞれの症状のメカニズム(発生機序や特徴)から、対象が困っていることは何かを考え、根拠に基づいた対象への看護について学ぶ。提示された動画をとおり対象の状況をイメージした上で、事前にテキストを読み、授業には主体的に参加することを期待する。国家試験出題基準を確認し学習すること。				